



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-06

12月号

発行 2024年12月14日

Chartered 1998

会長 利根川 太郎

クラブ会長主題 「原点に戻って、川越YMCAを支えよう。」

副会長 松川 厚子

国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)

会計 吉田 公代

主題 Together for better world より良い世界のために、共に

書記 吉野 勝三郎

スローガン Arise and Shine 日本語訳:立ち上がろう、そして輝こう

アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウォン (香港)

主題 大きなインパクトを起こそう

東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)

主題 ワイズの方向性を見極める

関東東部部長 山本 剛史郎 (川越)

主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない!

12月の聖句

・ヨハネによる福音書 14:1-4

「心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、私はそう言っておいたであろう。あなたがたのために場所を用意しに行くのだ。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。私がどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」

“Let not your heart be troubled; you believe in God, believe also in Me. In My Father's house are many mansions. If *it were* not so, I would have told you. I go to prepare a place for you. And if I go and prepare a place for you. I will come again and receive you to Myself; that where I am, *there* you may be also. And where I go you know, and the way you know.

(John 14:1-4)

11月統計(11月4日・23日)

出席者 9名 出席率 90%

川越クラブ 11月例会報告

会長 利根川太郎

師走を迎えて気分はクリスマスといったところですが、まだ日中は暖かい日も多くて、朝晩の寒暖差に戸惑う毎日です。川越クラブは、皆様のおかげで12月1日の25周年記念例会を盛会の内に開催することができました。記念例会については、実行委員長の恵子の報告に譲り、ここではその一週間前11月23日(土)に行いました定例の11月例会をご報告します。

1. 川越ワイズメンズクラブ25周年記念例会について

- ・一週間後に迫った記念例会について、最後の確認と役割分担を決めました。
- ・申し込んでくださった51名の皆さんに、最終のお知らせを前日行います。
- ・プログラムを確認しました。
 - DBC北九州クラブからビデオメッセージ。
 - IBCを検討中のハイデラバードクラブからビデオメッセージの予定。
 - みんなで歌おうは「ドレミの歌」「もろびとこぞりて」「きよしこの夜」の3曲。
- ・座席表を確認して、来賓以外はくじ引きで座席を決めます。
- ・お土産の、川越のいも菓子「イモ松葉」を用意します。

2. チャリティー「川越イモ」について

- ・11月いっぱいを含め切りにしていましたが、記念例会でチラシを配布して、もう少し受け付けます。

3. 12月21日(土)のクリスマス例会について

- ・川越YMCAで実施します。参加者は中学生高校生10名程度です。
- ・14:00~16:00 クリスマス会を川越ワイズメンズクラブと参加者が交流して実施します。お土産を用意して、山本さんがクリスマスのお話をします。
- ・16:00~16:30 ユースボランティアリーダーズフォーラム報告会。参加した木本真太郎君から、ワイズメンに参加報告があります。
- ・16:30~17:00 川越クラブ事務例会を行います。

4. 3月29日(土)のバス旅行について

- ・参加対象は、YMCAに通うお子さんや保護者、YMCAや

ワイズメンズの活動に興味のある方など広く募集予定です。

- ・バス代高騰のため、YMCAバス(27人乗り)を使います。企画は吉野実行委員長を中心に検討します。
5. 3月9日(日)開催の第26回アースデイ川越 in 昭和の街
・出展を決定し、申込みをしました。

以上、主な内容を報告いたします。次回は川越YMCAで12月21日(土)14:00開催のクリスマス例会です。

第25回 埼玉YMCA チャリティーラン報告

吉野 勝三郎

11月4日(月・休)に所沢航空公園で開催され、川越クラブは、クラブとしても、個人としても参加しましたので、以下に要点を報告いたします。

晴天に恵まれ、このイベントに参加できたことを喜んでいきます。小野塚勝俊 所沢市長の発走のピストルを合図に競技が始まりました。市長はその前の準備体操にも上着を脱いで参加者と一緒に体を解しておられたのが印象的でした。ご存知でしょうか、小野塚市長は所沢ワイズのメンバーなのです。

川越クラブからの当日の参加者は下記の写真のとおりです。走っ人、歩いた人、見学した人、それぞれのスタイルで楽しみました。

川越クラブからは、紅赤5K2箱、芋菓子詰め合わせ3箱、Y'sコーヒース3袋を景品として提供いたしました。チーム登録数は2でした。来年もぜひ参加したいと願いつつ会場を後にしました。

なお、参加者総数は160名超、協賛会社・団体数は30でした。



全体集合写真



川越ワイズメンズクラブ関係の参加者



参加者の雄姿(?)

川越ワイズメンズクラブ 25周年例会報告

川越ワイズメンズクラブ 25周年実行委員長
利根川恵子

川越ワイズメンズクラブは、師走に入った12月1日に創立25周年の記念例会を開催することができました。

当日は、東日本区理事山田公平様をはじめ51名の皆様にご臨席いただき、短い時間ではありましたが、賑やかなたいへん楽しい例会となりました。ご参加いただいた皆様の笑顔と会を盛り上げてくださるお気持ちに、川越クラブに対する愛情を感じた例会となりました。ここにあらためまして感謝申し上げます。

川越クラブは、1988年10月24日に東京ワイズメンズクラブ、埼玉ワイズメンズクラブを親クラブとして18名のメンバーでチャーターされました。したがって今年では26年目となりますが、25周年の節目としての記念例会の実施と記念誌発行ができました。これもひとえに、これまでお支えいただきました皆様のお陰と感謝申し上げます。

例会は所沢クラブ澁谷弘祐会長の聖書朗読・お祈りのあと、山田公平理事のご挨拶をいただきました。さらにDBC北九州クラブのビデオメッセージ、ハイデラバードクラブのビデオメッセージもご披露させていただくことができました。

短い時間でしたが、20周年からの歩みも山本剛史郎さんの案内で紹介することができました。5年はあっという間とも思いますが、20周年記念例会、柱であった鎌田政稔ワイズのご逝去、仙台での第28回アジア太平洋地域大会、コロナ禍とその中でのZoomによるIBC交流、私がアジア太平洋地域会長で皆さんが参加してくださった第30回アジア太平洋地域大会など、本当に多くの出来事があり、川越クラブの皆さんはもとより多くの皆様に支えられて今日があるのを実感したひとときでした。

川越クラブは、ニコニコ25年活動して参りました。これからも「ニコニコ笑顔で 未来へ」進んで参りたいと思います。末永く皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。記念例会のご報告といたします。



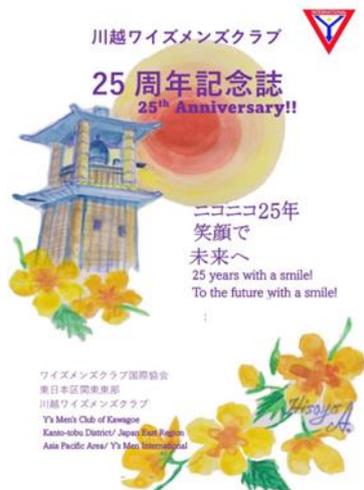
当日の全体写真



DBC 北九州ワイズメンズクラブ 曾我部久会長と松田四治さんからの祝辞メッセージ



来賓の方々



今回発行した記念誌

国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

ワイズ運動の貴重な2つの記念日
「創立記念日(ファウンダーズ・デイ)」

利根川恵子



祝辞を動画で送ってくれた、ハイデラバードクラブ(インド)の、Sundhamala 会長



12月8日は、1888年に初代国際会長ポール・ウィリアム・アレクサンダー判事の誕生した日です。それを記念して、ワイズメンズクラブ国際協会では、12月8日を「創始者記念日」としており、私たちの組織が受け継いできた尊い遺産と、1世紀以上にわたって私たちを導いてきた不朽の価値観について考える日としています。世界の各地で創立者の誕生を祝う行事やイベントを行なわれています。

東西日本区固有の「ワイズデー」

東西日本区では、日本のワイズメンズクラブが初めて国際協会に加盟したことを記念して、11月10日を「ワイズデー」としています。1928年11月10日に、大坂ワイズメンズクラブが日本で初めて国際協会に加盟しました。

このように、ワイズ運動の原点を考える記念日が続いています。川越クラブは12月1日に創立25周年記念例会を開催し、その歩みを振り返りました。ワイズ運動の原点である創



立者の誕生や日本におけるワイズ運動の起源を思うと、102年の歴史の重みを改めて感じます。今年はまだ過ぎてしまいましたが、今後、この記念日にちなんだ活動を考えるのもクラブの活性化、発展につながる一助になると思います。

YMCA 報告

川越ワイズメンズクラブ創立 25 周年記念例会に参加して

川越ワイズメンズクラブが、創立 25 周年を迎えることができたこと、心よりお祝い申し上げます。

こうして記念の日を迎えられたのも、ひとえに皆さまのお人柄あってこそのことと存じ上げます。節目に関わることができ、共にお祝いできたこと嬉しく思います。

記念例会には、北は北海道から、南は兵庫県まで、多くの方が集いました。受付で、対面する皆さまから、お祝いの言葉をいただき、川越ワイズメンズクラブが愛されていることを実感しました。お集まりいただいた皆さま、誠にありがとうございました。

懇談会では、美味しい食事をいただきました。また、参加者紹介、みんなで歌おうタイム等、豊かなひと時を過ごしました。記念会を通じて、川越ワイズメンズクラブをより深く知ることができました。バナー、チャリティー芋、今までの歴史、一つ一つに皆さまの想いに触れ、感動しました。

これからも川越ワイズメンズクラブの皆さんと共に歩んでいきたいと思っておりますので、「ニコニコ笑顔で、未来へ」でこれからもどうぞよろしくお願いいたします。ますますのご発展をお祈りいたします。

PS お土産のお芋のお菓子もありがとうございました。美味しくいただきました。【木下遥七(あーるリーダー)】

(編集後記)

今回も内容豊かなブリテンが発行できることを嬉しく思います。特に、12月1日(日)の私達のクラブの25周年記念例会は、会場のレストランから、定員50名と言われていたところに特別に52名を受け入れてもらうという、嬉しい悲鳴となりました。参加して下さった皆さんに心からお礼申し上げます。

2025年も残すところ半月となりました。皆さんにとってはどんな一年だったでしょうか。私は2年前に膝関節置換手術と腸閉塞で入院してから2年が経ちました。幸い、順調に回復し、夏には、久しぶり登山もできました。又、インドに2回出張し、8日間でしたが、パリとロンドンにも行くことができました。次の2025年が楽しみです。

でも、この12月には私達夫婦の結婚式を準備してくれ、親しかった学友が亡くなったことを知り、非常に悲しく、淋しさを感じています。

どうぞ、皆さん良い年末年始をお過ごし下さい。(KY)